



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社

コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 長谷川 研治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 IR担当 (氏名) 瀧澤 順 TEL 03-3241-1151

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	17,643	7.5	1,901	4.0	2,288	23.4	1,461	9.8
2024年9月期第1四半期	16,413	5.8	1,828	19.3	1,854	29.2	1,331	27.9

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 6,275百万円 (-%) 2024年9月期第1四半期 Δ1,069百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	35.65	35.49
2024年9月期第1四半期	32.35	32.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	146,902	123,371	83.7
2024年9月期	144,504	119,681	82.6

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 123,016百万円 2024年9月期 119,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	-	31.00	-	39.00	70.00
2025年9月期	-	-	-	-	-
2025年9月期（予想）	-	37.00	-	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,300	3.7	9,970	6.9	10,450	7.5	7,580	5.2	184.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期1Q	42,708,154株	2024年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	1,858,708株	2024年9月期	1,563,008株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期1Q	41,007,371株	2024年9月期1Q	41,145,311株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかな回復が続きました。一方で、国際情勢の動向、原材料価格や資源価格の高止まり、物価の上昇、為替の大幅な変動等が国内外の経済活動に与える影響が引き続き懸念され、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など、依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は前年同期に比べ1,229百万円(7.5%)増加し、17,643百万円となりました。なお、当社単体の売上高は前年同期比4.1%の増収、主要な海外連結子会社の売上高は、米国子会社が前年同期比1.0%の減収(現地通貨ベースでは同4.0%の減収)、中国子会社が前年同期比28.7%の増収(現地通貨ベースでは同24.4%の増収)、マレーシア子会社が前年同期比20.3%の増収(現地通貨ベースでは同9.2%の増収)となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、中国子会社及び当社単体の売上が増加したことを主因に前年同期比7.6%増加し、15,557百万円となりました。

フレグランス部門は、中国子会社及び当社単体の売上が増加したことを主因に前年同期比6.7%増加し、2,086百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上高の増加並びに売上原価率の改善を主因に前年同期に比べ73百万円(4.0%)増加し、1,901百万円となりました。経常利益は営業利益の増加並びに為替差益243百万円の計上(前期は為替差損98百万円の計上)を主因に、前年同期に比べ433百万円(23.4%)増加し、2,288百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ130百万円(9.8%)増加し、1,461百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における損益計算書の換算に適用する主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)は、下記のとおりです。

1 米ドル=152.44円(前年同期147.89円、前年同期比3.1%円安)

1 人民元=21.16円(前年同期20.44円、前年同期比3.5%円安)

1 マレーシアリングgit=34.70円(前年同期31.50円、前年同期比10.2%円安)

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、セグメントごとの経営成績については、セグメント間の内部売上高等を含めて表示しております。

(日本)

売上高は10,392百万円(前年同期比4.1%増)、セグメント利益は1,173百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

(アジア)

売上高は4,697百万円(前年同期比25.7%増)、セグメント利益は1,263百万円(前年同期比57.9%増)となりました。

(米国)

売上高は3,438百万円(前年同期比2.6%減)、セグメント損失は529百万円(前年同期は65百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が2,192百万円、商品及び製品が682百万円、原材料及び貯蔵品が714百万円それぞれ増加した一方で、有価証券が3,997百万円減少しました。これらを主因として、流動資産は前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、72,306百万円となりました。

(固定資産)

前連結会計年度末に比べ、有形固定資産が1,148百万円、外貨建てでの償却は進んだものの、円安の影響によりのれんが686百万円、無形固定資産その他に含まれる顧客関連資産が932百万円それぞれ増加した一方で、投資有価証券が612百万円減少しました。これらを主因として、固定資産は前連結会計年度末に比べ2,333百万円増加し、74,596百万円となりました。

(流動負債)

前連結会計年度末に比べ、買掛金が373百万円増加した一方で、未払法人税等が614百万円、賞与引当金が1,377百万円それぞれ減少したことを主因として、流動負債は前連結会計年度末に比べ1,227百万円減少し、13,543百万円となりました。

(固定負債)

前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債が13百万円、退職給付に係る負債が25百万円それぞれ減少したことを主因として、固定負債は63百万円減少し、9,987百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ、為替換算調整勘定が5,233百万円増加した一方で、自己株式が979百万円増加（純資産は減少）したことを主因として、純資産合計は3,689百万円増加し、123,371百万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末における貸借対照表の換算に適用する主要通貨の日本円への換算レート（期末日レート）は、下記のとおりです。

1 米ドル=158.18円（前連結会計年度末142.73円、前連結会計年度末比10.8%円安）

1 人民元=21.67円（前連結会計年度末20.46円、前連結会計年度末比5.9%円安）

1 マレーシアリングギット=35.46円（前連結会計年度末34.79円、前連結会計年度末比1.9%円安）

また、前連結会計年度に行ったABELEI, INC.の取得による企業結合に係る取得原価の配分については、当四半期連結会計期間末においても暫定的な会計処理を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,396	29,588
受取手形及び売掛金	20,473	20,567
有価証券	6,997	2,999
商品及び製品	8,053	8,736
仕掛品	161	82
原材料及び貯蔵品	8,200	8,914
その他	989	1,444
貸倒引当金	△30	△26
流動資産合計	72,241	72,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,463	22,132
その他(純額)	14,903	15,383
有形固定資産合計	36,367	37,515
無形固定資産		
のれん	9,855	10,541
その他	12,868	14,076
無形固定資産合計	22,723	24,617
投資その他の資産		
投資有価証券	11,997	11,384
退職給付に係る資産	18	18
その他	1,223	1,127
貸倒引当金	△67	△68
投資その他の資産合計	13,171	12,462
固定資産合計	72,262	74,596
資産合計	144,504	146,902
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,324	6,697
未払法人税等	1,498	883
賞与引当金	2,004	626
役員賞与引当金	85	—
撤去費用引当金	204	204
その他	4,654	5,131
流動負債合計	14,771	13,543
固定負債		
繰延税金負債	840	827
退職給付に係る負債	7,480	7,455
資産除去債務	69	69
長期末払金	178	174
その他	1,481	1,460
固定負債合計	10,051	9,987
負債合計	24,822	23,531

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,513	7,518
利益剰余金	90,670	90,527
自己株式	△2,556	△3,536
株主資本合計	100,991	99,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,304	5,877
為替換算調整勘定	12,171	17,405
退職給付に係る調整累計額	△148	△141
その他の包括利益累計額合計	18,327	23,141
新株予約権	362	354
純資産合計	119,681	123,371
負債純資産合計	144,504	146,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	16,413	17,643
売上原価	9,722	10,227
売上総利益	6,691	7,416
販売費及び一般管理費	4,862	5,514
営業利益	1,828	1,901
営業外収益		
受取利息	67	86
受取配当金	31	40
為替差益	—	243
その他	38	70
営業外収益合計	136	441
営業外費用		
支払利息	6	5
為替差損	98	—
その他	6	48
営業外費用合計	110	54
経常利益	1,854	2,288
特別損失		
固定資産廃棄損	2	5
特別損失合計	2	5
税金等調整前四半期純利益	1,852	2,282
法人税等	520	820
四半期純利益	1,331	1,461
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,331	1,461

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,331	1,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△324	△426
為替換算調整勘定	△2,090	5,233
退職給付に係る調整額	15	6
その他の包括利益合計	△2,400	4,813
四半期包括利益	△1,069	6,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,069	6,275
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は2024年11月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式306,400株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が999百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,536百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	958百万円	1,011百万円
のれん償却額	241百万円	363百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3	9,282	3,707	3,424	16,413	—	16,413
顧客との契約から生じる収益	9,282	3,707	3,424	16,413	—	16,413
外部顧客への売上高	9,282	3,707	3,424	16,413	—	16,413
セグメント間の内部売上高 又は振替高	697	30	107	835	△835	—
計	9,980	3,737	3,531	17,249	△835	16,413
セグメント利益又は損失(△)	1,101	799	△65	1,836	△7	1,828

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△7百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額29百万円、棚卸資産の調整額△36百万円、その他△1百万円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年10月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
香料事業(注) 3	9,588	4,662	3,391	17,643	—	17,643
顧客との契約から生じる収益	9,588	4,662	3,391	17,643	—	17,643
外部顧客への売上高	9,588	4,662	3,391	17,643	—	17,643
セグメント間の内部売上高 又は振替高	803	34	46	884	△884	—
計	10,392	4,697	3,438	18,528	△884	17,643
セグメント利益又は損失(△)	1,173	1,263	△529	1,907	△5	1,901

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△5百万円は、セグメント間取引に係る内部損益取引の調整額37百万円、棚卸資産の調整額△42百万円、その他△1百万円であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 香料事業はフレーバー、フレグランス等の製造・販売を主な事業内容としており、当該事業の売上高は主に一時点で顧客に移転される財から生じる収益で構成されております。